
オレと友人

コウ 9 9

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オレと友人

【Nコード】

N8267C

【作者名】

コウ99

【あらすじ】

オレと友人のアホな日常を描いた、コメディーに近いほのぼのとした小説。

第1話 アホの始まり

この話の主要…、てかアホなオレと友人が高校生活でいろいろ頑張ってしまうバカなお話です。
てなわけで

第1話目 スタート

一時間目と二時間目の休憩時間……

オレの前の席にドカッと座って言った。

「オレらってバカだよなあ???」といきなり言ってくる。

いやお前程バカではないが……一応うなずく。

「だから塾に入らねえ??」

一瞬時が、オレの世界が止まった…まさか友人の口から「塾」という単語が出てくるとは……

「おいおい、いきなり何を言いだすんだよ?」と笑顔で動揺を隠すオレ。

「だ・か・ら?、塾に入ろうぜって言ってたんだよ!!!」

「だから」の間にある

「・」がムチャクチャキモイ

それに雨降るぜ…

本当に雨が降ってきた…

そのことに、ちよっとビックリ、ちよっと安堵。

「何かいい塾あんのかよ???」と落ち着いて返すオレ…

「そりゃあ、決まってるだろ」

イヤ、お前に決められたら終わりだから？

「オレの塾！！」と友人は大声でなおかつ高らかに言っただけだ…

この時、クラスの気持ちが一つになった。

「嘘つくな！！」

周りから

「嘘は良くねえって、○○？」

「マジ、ウケル？」

「ドンダケ？え」

「あり得ねえ？」

「嘘だって？、だって○○ってバカじゃん！」などが聞こえてくる…

このことから友人がみんなから、普段からどう思われてるのがこれ以上ないくらいに分かった。友人ありがとう！そしてドンマイ……

周りからの容赦ない意見により傷ついた友人…かわいそう、肩が震えてる…

慰めようと肩を叩こうとしたその時、友人は急に顔を振り上げた…

まさに鬼の形相…友人は悲しかったんじゃない、ムカついてたんだ。

「テ、テ、テ、テメーラざけんなよ!!」

いやぶざけてなんかサラサラないが……

「このTEL番に今すぐ電話かけてみる!!嘘じゃないこと証明してやらあ!」

証明するのお前じゃないんだ……

そして友人から番号が書いてある紙をひったくってかけてみた。

周りの奴らもほとんどんこつちに来て、かけ始めた…

1コール目、出ない… 「今話中みたいだぜ」 そりゃそうだが、こんな人数でかけてたら…

2コール目、まだ出ない……

3コール目、まだまだ出ない……

周りの奴らがオレの携帯が繋がってることに気付く…そして一斉に近寄ってくる…

4コール目、5コール目、6コール目……全く出ない……

諦めかけた7コール目、ついに出了!!

『はい、こちら駅前〇×ゼミです』と大きな慌てた声……

大きな声だったので周りにも聞こえたんだろう…一斉に友人の方を向く…

友人は手を頭の後ろに組み、足を組んで偉そうにふんぞりかえっていた。

オレは驚きの余り携帯を切ってしまった…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8267c/>

オレと友人

2010年10月28日05時10分発行